

2011年10月14日

東日本大震災 ピースボート災害ボランティア関連情報

東北での課題に向き合い、自然災害への備えを！ 11月、石巻市で『災害ボランティア・リーダートレーニング』を開始。 － 被災地ボランティアを機能させる人材育成とネットワークづくりを －

この度、(社)ピースボート災害ボランティアセンター(以下、ピースボート)では、11月より、宮城県石巻市での災害ボランティアに向けた人材育成プログラム「災害ボランティア・リーダートレーニング」を開始することを発表いたしました。

ピースボートでは、10月13日、JICA 地球ひろば(東京・広尾)にて、東日本大震災の中間報告会となる「災害ボランティアを活かす仕組みを」を開催しました。中間報告会には、石巻でのボランティア経験者ら300人以上が参加。震災直後から現場で緊急支援の指揮を取ってきたボランティア・コーディネーターやゲストに鎌田實氏(諏訪中央病院名誉院長/作家)らが登壇し、この震災で課題となったボランティア受け入れの仕組みづくりや、より多くのボランティアを機能的に活躍させるために必要なリーダーの必要性を考えました。その上で、東北での支援を続けながらも、来る大災害に備えて11月から開始する「災害ボランティア・リーダートレーニング」の趣旨と概要を紹介しました。

このプログラムは、専門家や大学、NGO、企業などが共同開発を行っているもので、全国から集まる災害ボランティアを対象に、石巻市で7日間をかけて実施されます。自らもボランティア活動に参加し、トレーナーによる自然災害や救援活動に対する基礎知識や実地研修、ケーススタディ、実践を組み合わせたカリキュラムで構成され、現場での判断力とリーダーシップの養成を目的としています。

その後、認定を受けた「災害ボランティア・リーダー」は、地元や全国の自然災害の現場にいち早く入り、刻一刻と変化する被災地の状況を的確に把握、入れ替わりの激しいボランティアたちをまとめ、安全かつ機能的に現場での指揮をとる人材となります。11月より隔週で実施をはじめ年間で300人以上を認定、最終的には全国各地の約1,000名のボランティア・リーダーと、約30,000人の災害ボランティア登録者による人材ネットワークの構築を目指しています。

■ 11月、第一期・第二期 ピースボート『災害ボランティア・リーダートレーニング』スケジュール

- 【日程】 第一期:11月4日(金)～12日(土)
第二期:11月18日(金)～26日(土) ※12月以降のスケジュールは後日ホームページで発表
- 【定員】 各回20名
- 【受講料】 第一期、第二期は無料実施(別途、ボランティア活動・自己負担1,000円が必要となります。)
- 【実施場所】 宮城県石巻市のボランティア施設、市内活動地区
- 【参加資格】 原則2日以上ピースボート災害ボランティア活動経験がある方、もしくはこれから参加する方
その他の詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://pbv.or.jp/>
- 【内容】 7日間 基礎レクチャー、安全と危機管理、ワークショップ、現場リーダー実践など
※詳細カリキュラムは別紙
- 【応募方法】 要 事前申し込み
(社)ピースボート災害ボランティアセンター TEL. 03-3363-7967(10時～19時/日祝定休)

9月に発生した紀伊半島での台風被害に対するボランティアが圧倒的に足りていないことを見れば、これらの仕組みづくりと人材育成がこれからの大きな課題であることは明らかです。今回の震災に学び、次なる災害で被害を最小限にするための取り組みが必要です。プログラムに関する取材・報道などご検討のほど、よろしくお願ひいたします。

● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター

TEL: 03-3363-7967 FAX: 03-3362-6073 MAIL: kyuen@pbv.or.jp

災害ボランティアリーダートレーニング 標準カリキュラム

日数	形式	テーマ	目的と内容
1日目	講座 質疑応答	自然災害について	多岐にわたる災害の種類とその仕組みについて知ると共にその特徴をおさえる。
	講座 質疑応答	災害支援について	日本における災害支援の枠組みを知り、各関連機関の役割について考える。また、各関係機関の特徴を理解し、その有効性と限界について検討。また、災害発生してから刻一刻と変化する支援活動の段階や、支援を行う際の国際基準等に関する理解を行う。
	講座 質疑応答 実地訓練	サイコロジカルファーストエイド PFA	被災者と出会う場面において、支援者としてどのように自らの役割を果たすのかを検討する。被災者との接し方やセルフケアに関する心構えを理解する。
	講座 ワークショップ ディスカッション	災害ボランティア活動について ケーススタディー ～何のため、誰の為の支援か～	過去に発生した災害支援に関して、ボランティアが行った活動事例を参考に行う、ボランティア活動が、何のために誰の為のものを考える。
2日目	講座 想定訓練	安全と危機管理	異なる災害/環境/時期における安全管理の方法を学ぶ。作業手順の検討や安全マニュアルの作成、緊急時計画などを検討する。
	ワークショップ 想定訓練	ファーストエイド	緊急時における、措置や救護、傷病の基礎を学び、その対策と検討する。 チームメンバーの事故発生時において、救護の基礎を実践するために現場で必要な技術を習得する。応急処置、AEDなど
3日目	講座 ワークショップ	野外活動 ～自己完結する為に～	災害時ライフラインが復旧していない場合は、野外での生活を余儀なくされる。自己完結が前提となる為、持参する装備やその備品の使用方法を学ぶ。テントの張り方、ロープの使用方法、荷物の積み方など
	実地訓練	炊出し訓練	災害時において、ニーズとしていち早く上がってくるのが食事である。非常時の炊出し訓練を行う。道具の使用方法や衛生管理などを学ぶ。
4日目	実地訓練	ボランティアリーダー研修(1)	実際に活動しているボランティアリーダーと共に、活動現場に同行し、活動内容のサポートと観察を行う。
	ワークショップ ディスカッション	ケーススタディー ～ボランティアリーダー～	ボランティアリーダーが対峙するであろうケースに関して、ディスカッションを通して考察する。
5日目	実地訓練	ボランティアリーダー研修(2)	実際に活動しているボランティアリーダーと共に、活動現場に同行し、活動内容のサポートと観察を行う。
	ワークショップ ディスカッション	ケーススタディー ～ボランティアリーダー～	ボランティアリーダーが対峙するであろうケースに関して、ディスカッションを通して考察する。
6日目	実地訓練	ボランティアリーダー演習(1)	ボランティアグループの担当につき、活動内容の説明や運営を行う。
	実地訓練	ボランティアグループのミーティング	ボランティアメンバーとの反省会を行う。メンバーの話に耳を傾け、意見を集約する。他のリーダーと情報共有する。
7日目	実地訓練	ボランティアリーダー演習(2)	ボランティアグループの担当につき、活動内容の説明や運営を行う。
	実地訓練	ボランティアグループのミーティング	ボランティアメンバーとの反省会を行う。メンバーの話に耳を傾け、意見を集約する。他のリーダーと情報共有する。
	ディスカッション	評価会/体験の共有 ～トレーニングをふりか返って～	リーダートレーニングプログラムのふり返しを行い、今後、地域での防災や減災に対してどのように役立てるかを検討する。